



2027年3月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2026年8月6日

上場会社名 ムーンバット株式会社

上場取引所 東

コード番号 8115 URL <https://www.moonbat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 鎌田 尚

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山本 聡

TEL 075-361-0381

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,975	△2.9	475	△33.9	560	△20.7	480	△18.1
2026年3月期第1四半期	4,095	6.1	720	32.4	707	35.8	586	37.8

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 468百万円 (△17.7%) 2026年3月期第1四半期 569百万円 (30.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	106.55	—
2026年3月期第1四半期	130.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	10,786	6,148	56.9	1,362.70
2026年3月期	9,938	5,864	58.9	1,298.03

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 6,141百万円 2026年3月期 5,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	20.00	—	41.00	61.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期 (予想)	—	20.00	—	34.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	4.7	700	14.2	750	11.0	600	4.4	133.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	4,774,719 株	2026年3月期	4,774,719 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	267,552 株	2026年3月期	267,459 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	4,507,190 株	2026年3月期1Q	4,507,719 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、人手不足を背景とした雇用・所得環境の改善が見られる一方、中東情勢の緊迫化等の地政学的リスクの高まり、資源価格や石油製品価格の高騰、円安の進行に伴う継続的な物価上昇による消費者マインドの下振れが懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

服飾雑貨業界におきましても、日中関係の冷え込みによるインバウンド需要の減速、円安傾向の為替相場の影響、資源価格上昇に起因する仕入コスト上昇の恒常化、生活必需品を中心とした物価上昇を背景とする消費者の節約志向の高まりなど、事業環境へのマイナスの影響が懸念されております。

このような経営環境の下、当社グループは、当連結会計年度が最終年度となる3ヶ年の「中期経営計画」に基づき、成長戦略として「専門店マーケットへの商品開発及びマーケティングの強化」、「直営店・小売事業の拡大に向けた新たな店舗戦略の展開」、「Eコマース事業の更なる拡大」及び「国内外の新規販路開拓」の4つの施策を推進しております。また、その基盤となる取組みとして、自社ブランドの育成・確立、人材投資の積極化による採算性・生産性の向上を目指すとともに、各販路に対する最適な商品・人的配置、リスク及びコストを意識したサプライチェーンの再構築、適時適切な仕入・販売コントロールによる在庫の最適化、DX（デジタルトランスフォーメーション）の高度化・活用を含めた販売管理費のコントロールを推進しております。

業績につきましては、中期経営計画に掲げる各施策の推進に努めましたが、消費者の節約志向の高まりなどのマクロ経済環境の影響に加え、4月及び5月は前年同様に比較的气温の高い状況が続いたものの、6月は全国的に前年を下回る気温で推移したことから、春夏物商品の販売がEコマース部門を除く各販路で伸び悩み、売上高は前年同四半期を下回りました。

損益面では、引き続き、商品配置の最適化やプロパー販売の促進等に努めましたが、前年に比べ大幅な円安が進行したことにより、春夏物商品の海外からの仕入コストが上昇し、売上総利益及び売上総利益率は前年同四半期を下回りました。また、広告宣伝費を含む販売関連経費及び人的資本投資に伴う人件費が増加したことから、営業利益も前年同四半期を下回りました。

その結果、連結売上高は39億75百万円（前年同四半期比2.9%減）、連結営業利益は4億75百万円（前年同四半期比33.9%減）、連結経常利益は5億60百万円（前年同四半期比20.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億80百万円（前年同四半期比18.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①身の回り品事業

身の回り品につきましては、当四半期を通して気温が上がりきらず、春夏物商品の販売はEコマース部門を除く各販路で前年同四半期を下回り、全体の売上高は前年同四半期を下回りました。各販路に対応したきめ細かな商品開発・提案やプロパー販売の促進などの販売施策の推進に努めましたが、円安による仕入コストの上昇に加え、広告宣伝費、人件費等の販売管理費の増加もあり、セグメント利益も前年同四半期を下回りました。

洋傘部門につきましては、梅雨の長雨や台風の到来による降雨量が前年より増加した影響もあり、雨傘の販売は堅調に推移いたしました。6月以降の気温上昇が鈍かったことから、過去数年にわたり活況を呈していた日傘（パラソル）マーケットが低調に推移し、売上高は前年同四半期を下回りました。

洋品部門につきましても、マーケット全体の春夏物の販売が低調に推移し、売上高は前年同四半期を下回りました。

帽子その他の部門につきましては、当四半期の気候によるマイナス影響が比較的少なかったことに加え、新たな海外ブランドバッグの取扱いを開始したことから、売上高は前年同四半期を上回りました。

毛皮・宝飾品部門につきましては、エコファー・リフォーム等のサステナブルな提案、新規商材の開拓、百貨店外商ルートの活用及び催事展開にも注力し、高価格帯マーケットの販売が堅調に推移したことから、売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、身の回り品の売上高は38億77百万円（前年同四半期比2.7%減）、セグメント利益は、4億92百万円（前年同四半期比31.2%減）となりました。

②情報サービス事業

情報サービス事業につきましては、業務のIT化、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進ニーズの高まりを捉え、システム開発受託・販売、保守・メンテナンス等に引き続き注力しておりますが、グループ内取引の増加もあり、売上高は前年同四半期を下回りました。また、当四半期は比較的上総利益率の低いシステム開発受託案件が多く、それに伴う労務費の上昇もあったことから、セグメント利益も前年同四半期を下回りました。

その結果、売上高は、97百万円（前年同四半期比10.3%減）、セグメント損失は、3百万円（前年同四半期は12百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ8億47百万円増加して107億86百万円となりました。この主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が3億32百万円増加したこと、商品及び製品が4億98百万円増加したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ5億63百万円増加して46億38百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が増加したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ2億84百万円増加して61億48百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を4億80百万円計上したこと、及び剰余金の配当を1億84百万円実施したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2026年5月14日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,107,773	1,220,128
受取手形、売掛金及び契約資産	1,679,139	2,011,422
商品及び製品	2,563,659	3,061,873
仕掛品	2,633	811
原材料及び貯蔵品	60,208	30,044
返品資産	177,969	194,635
その他	259,187	193,314
貸倒引当金	△7,000	△16,000
流動資産合計	5,843,571	6,696,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	748,698	735,074
土地	1,677,848	1,677,848
その他（純額）	156,233	168,944
有形固定資産合計	2,582,780	2,581,867
無形固定資産		
のれん	35,336	32,391
その他	309,129	319,706
無形固定資産合計	344,466	352,098
投資その他の資産		
その他	1,196,054	1,183,889
貸倒引当金	△28,201	△27,894
投資その他の資産合計	1,167,852	1,155,995
固定資産合計	4,095,099	4,089,961
資産合計	9,938,671	10,786,192
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	444,880	400,766
電子記録債務	80,300	70,586
短期借入金	2,100,000	2,700,000
1年内返済予定の長期借入金	123,137	—
未払法人税等	74,549	98,313
賞与引当金	115,449	51,707
返金負債	292,387	328,746
その他	394,814	533,031
流動負債合計	3,625,520	4,183,150
固定負債		
退職給付に係る負債	323,903	325,084
その他	125,121	129,772
固定負債合計	449,025	454,856
負債合計	4,074,546	4,638,007

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	2,856,206	2,856,206
利益剰余金	1,921,653	2,217,088
自己株式	△155,114	△155,247
株主資本合計	5,622,746	5,918,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119,177	123,379
繰延ヘッジ損益	9,839	—
為替換算調整勘定	68,267	71,771
退職給付に係る調整累計額	30,545	28,729
その他の包括利益累計額合計	227,829	223,881
非支配株主持分	13,549	6,256
純資産合計	5,864,125	6,148,185
負債純資産合計	9,938,671	10,786,192

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,095,537	3,975,779
売上原価	2,188,531	2,270,041
売上総利益	1,907,006	1,705,737
販売費及び一般管理費	1,186,784	1,229,795
営業利益	720,222	475,942
営業外収益		
受取利息	832	858
受取配当金	2,898	5,380
為替差益	—	77,151
不動産賃貸料	10,458	9,761
投資有価証券売却益	—	10,302
その他	1,518	820
営業外収益合計	15,707	104,274
営業外費用		
支払利息	7,067	11,616
為替差損	3,149	—
不動産賃貸原価	7,047	6,749
投資有価証券評価損	10,830	—
その他	648	944
営業外費用合計	28,743	19,309
経常利益	707,185	560,907
税金等調整前四半期純利益	707,185	560,907
法人税、住民税及び事業税	103,291	80,892
法人税等調整額	15,957	7,150
法人税等合計	119,249	88,043
四半期純利益	587,935	472,864
(内訳)		
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,364	△7,368
親会社株主に帰属する四半期純利益	586,571	480,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,831	4,277
繰延ヘッジ損益	△14,438	△9,839
為替換算調整勘定	△8,913	3,503
退職給付に係る調整額	△913	△1,815
その他の包括利益合計	△18,433	△3,873
四半期包括利益	569,502	468,990
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	567,939	476,283
非支配株主に係る四半期包括利益	1,562	△7,293

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	39,692千円	41,956千円
のれんの償却額	2,944	2,944

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	身の回り品 事業	情報サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,986,356	109,181	4,095,537	—	4,095,537
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	9,772	9,772	△9,772	—
計	3,986,356	118,953	4,105,309	△9,772	4,095,537
セグメント利益	715,812	12,091	727,904	△7,682	720,222

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	身の回り品 事業	情報サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,877,876	97,903	3,975,779	—	3,975,779
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	20,821	20,821	△20,821	—
計	3,877,876	118,725	3,996,601	△20,821	3,975,779
セグメント利益又は損失(△)	492,291	△3,098	489,193	△13,250	475,942

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。